

# 納入企業向け SupplyOn サービスのサービス仕様(SLB 2.0)

## 1. 概要

本サービス仕様は、納入企業(以下、「契約パートナー」という)に向けた SupplyOn サービスのサービス範囲を定義しています。本サービス仕様に加え、基本契約、「SupplyOn AG SupplyOn サービスの一般契約条項(現在有効なバージョン)(以下、「GTC」という)、およびそれぞれの契約上の要素も、SupplyOn サービスの提供および契約パートナーと SupplyOn との間の契約関係を規定します。GTC に含まれる定義は、本サービス仕様にも同様に適用されます。

SupplyOn サービスは、ブラウザインターフェースまたは契約パートナーあるいは購買企業の内部システムとの統合により、電子商取引の処理、特にソーシング、エンジニアリング、サプライチェーン管理および品質管理の分野における電子商取引の処理を容易にします。SupplyOn サービスは、データの処理、一時保存、伝送並びに分析を伴います。

さらに、SupplyOn は、契約パートナーのために、SupplyOn と購買企業の関連システムとの間のデータアクセスの統合によるシングルサインオンを提供します。これは、契約パートナーが何度もログインすることなく、購買企業の内部システムに直接アクセスすることが意味します。

各ケースで合意された SupplyOn サービスには、それぞれのカスタマーサポートの提供も含まれていません。

## 2. SupplyOn サービス一覧

以下の基本サービスは、その他のサービスを使用するための前提条件となります。

- SupplyOn Master Data Administrationは、企業プロフィールデータの保存、更新および交換をサポートします。契約パートナーによって入力されたデータは、購買企業による閲覧やダウンロードができます。

基本サービスに加え、以下のSupplyOnサービスは、購買企業による招待の後、並びにそれぞれのSupplyOnサービス(GTC § 3参照)へのアクセスの申し込みおよびアクセスの承認後に使用することができます。

- SupplyOn Auctionsは、契約パートナーを入札者として招待できる特定の購買オークションをサポートします。
- SupplyOn Sourcingは、オファーをオンラインで提示するためのソリューションです (SupplyOnオークションも含まれます)。
- SupplyOn Document Managementは、文書(図面、規格、部品提出保証書など)の提供と交換をサポートします。
- SupplyOn Collaboration Foldersは、データを一元的に保管および管理するための共同仮想プロジェクトルームです。
- SupplyOn SCM (Web EDI) は、ブラウザインターフェースを使用するか、EDIを介して契約パートナーの内部システムに直接統合することによって、物流および財務プロセスを処理します。
- SupplyOn Vendor Managed Inventoryは、配置をサポートするために消費ベースの配置プロセスを可視化できます。
- SupplyOn Transport Managementは、サプライヤおよび配送サービスプロバイダーとの輸送注文を処理することができます。
- SupplyOn Performance Monitorは、サプライヤ評価データを表示します。
- SupplyOn Problem Solverは、クレームの処理をサポートします。

- SupplyOn Project Managementは、プロジェクトの計画とプロジェクトの実行をサポートします。
- SupplyOn AirSupplyは、ブラウザインターフェースを使用するか、EDI (Machine-to-Machine, M2M) を介して契約パートナーの内部システムと直接統合することによって、物流並びに財務プロセスを処理します。
- SupplyOn Customer Application Accessは、購買企業の内部システムのシングルサインオンが含まれます。購買企業のシステム自体は、SupplyOnによって提供されるサービス範囲の不可欠な部分ではありません。

SupplyOnサービスの詳細については、SupplyOnの貴社担当窓口から入手することができます。

### 3. 技術的な制限

EDI(M2M) による処理の場合、AirSupplyには津語の特別な制限が適用されます。

サイズ制限(契約パートナーからSupplyOnへ)	伝送毎の最大サイズ：4MB この制限を超えるファイルはブロックされます。契約パートナーは、SupplyOnに送信する前にファイルを分割する必要があります。
ファイルの分割 (SupplyOnから契約先へ)	大きなデータボリュームは、複数のファイルに分割します。（例えば、1つの20MBのファイルを伝送する代わりに、5つの4MBのファイルであれば伝送することができるでしょう）
伝送頻度(SupplyOnから契約パートナーへ)	メッセージスケジューラー内では、契約パートナーによって伝送頻度を設定することができます。契約パートナーがすべてのメッセージ(履歴を含む)を受信したい場合は、次の制限が適用されます。 -VMI：最大1日に1回 -その他のすべてのメッセージ：最大1週間に1回

### 4. 技術的な有効性

SupplyOnは、個々のSupplyOnサービスを、単月(月曜日から日曜日、00:00～24:00)において、本番環境で99%の可用性を保証します。「可用性」とは、インターネットへのインターフェースの活用性を指します。可用性の決定には、SupplyOnサービスに適用される必要かつ定期的な保守時間枠から生じる停止時間は除外するものとします。SupplyOnは、予定されている保守時間枠を契約パートナーに事前に通知するものとします。

可用性の決定には、以下の停止時間を除外するものとします。

- あらゆる不可抗力
- 第3社によるコンピュータ犯罪による停止時間
- 契約パートナーまたは購買企業の従業員による業務中断
- GTCに基づく協力義務の不履行または違反
- インターネットまたは電気通信ネットワークの停止時間または中断
- SupplyOnサービスの範囲内での統合の過程における契約パートナーまたは購買企業の内部システムの停止時間

### 5. 必要なシステム要件

ブラウザインターフェース経由でSupplyOnサービスを使用するためには、契約パートナーは現在有効なシステム要件(リリースされたブラウザやブラウザのバージョンなど)を満たす必要があります。これ

らは[www.SupplyOn.com/requirements](http://www.SupplyOn.com/requirements)で説明されています。

## 6. 内部システムとの統合のためのサービス

特定のSupplyOnサービスは、契約パートナーの内部システムと、関連するSupplyOnサービスの基盤となる（「統合」）のシステムと直接に接続することを容易にします。このような場合、一部または全体の自動システム間通信は、ユーザーによる手動によるブラウザ操作を置き換えます。内部システムはもちろん、SupplyOnのデータフォーマットに基づいて電子ビジネスプロセスを作成すること、並びに処理することに関する内部システムの準備の責任は契約パートナーにのみあるものとします。SupplyOnは、別途提供されるプロセス説明に従い、SupplyOnサービスと関連する契約パートナーの内部システムの統合を単発で支援します。

## 7. 安全保障宣言

SupplyOnを介して交換されるデータの機密性と完全性を保護し、記載された外面の範囲内においてSupplyOnサービスの約束された可用性を確保するため、SupplyOnは、ITおよびクラウドコンピューティングソリューションのプロバイダーに対する以下の国際基準の要件を満たしています。

- ISO/IEC 27001-情報セキュリティ管理システムを正式に規定する国際セキュリティ標準
- ISO/IEC 27017-クラウドコンピューティングで一般的に受け入れられている保護コントロールを実装するための実践規範
- ISO/IEC 27018-クラウドコンピューティングアプリケーションにおける個人データの保護に関する実践規範

SupplyOnのセキュリティと運用の概念は、上記の基準に基づいて外部監査人によって定期的に定期的にレビューされます。安全な運用の基礎には、次のような特徴が含まれます。

- 冗長化されたインフラストラクチャー
- 冗長化されたインターネット接続
- 非常用電源
- 火災、煙、水による損傷を防ぐための用心
- 24時間365日のシステム監視
- 脆弱性スキャンと侵入テスト
- 侵入検知メカニズム
- 暗号化された通信接続
- 契約パートナーの管理者による自社従業員のユーザー管理
- ユーザー名/パスワードによるSupplyOnポータルへのログイン、または選択したSupplyOnサービスについては、オプションで証明書ベースのログイン

## 8. 協力義務

- 契約パートナーは、SupplyOnサービスのために自社のユーザーを作成し、個々のSupplyOnサービスの権利を割り当て、ユーザーが退職した場合などにユーザーを無効にする一人以上の管理者を任命するものとします。
- いくつかのSupplyOnサービスは、SupplyOnに登録されている貴社のお客様が重要な情報を変更した場合、ユーザーに積極的に通知します。詳細は、関連するオンラインドキュメントに記載されています。システムにより生成された通知電子メールにより、契約パートナーは、ビジネスパートナーの新しいデータまたは返されたデータがシステムで利用可能かどうかを定期

的に確認することから解放されるわけではありません。

- このため、契約パートナーは、関連情報があるかどうかを確認するために、(貴社のお客様の要件に応じて)定期的にSupplyOnサービスに定期的にログオンする必要があります。
- 独自のソリューション(EDI Managersなど)の運用と同様に、SupplyOnのようなオンラインプラットフォームの運用においても、原則として問題の発生やサービスの中断を排除することはできません。したがって、契約パートナーは、このような場合に備えて独自のコンティンジェンシープランを用意する必要があります。契約パートナーは、特定の国へのインターネット接続が遅くなったり、政府などにより長期的にインターネット接続が完全にブロックされたりするなどの根源的なリスクのあることを認識しています。その結果、そのような国のユーザーはSupplyOnサービスにアクセスできなくなります。SupplyOnは、このようなブロックが判明次第、お客様に通知するものとします。このような場合、契約パートナーは、関連するコンティンジェンシープランを実行する責任があります。
- 契約パートナーは、法的要件に基づきアーカイブする必要があり、SupplyOnプラットフォームを介して交換されるすべてのドキュメントが、監査に耐えうる方法でアーカイブされるようにする責任を負います。

## 9. カスタマーサポート

カスタマーサポートは、すべてのSupplyOnサービスについて契約パートナーを支援します。

契約パートナーの内部システム（第5項を参照）およびと購買企業のシステム（第2項、SupplyOnカスタマーアプリケーション・アクセスを参考）に対するカスタマーサポートは、特に明記されない限りSupplyOnのサービス範囲に含まれないものとします。SupplyOnのカスタマーサポートはSupplyOnのホームページからアクセスすることができます。

カスタマーサポートは以下のサービス時間にてご利用いただけます。

言語	サービス時間
ドイツ語および英語	月曜日～日曜日：00:00～24:00 中央ヨーロッパ時間
イタリア語、フランス語、スペイン語およびポルトガル語	月曜日～金曜日：06:00～20:00 中央ヨーロッパ時間
中国語	月曜日～金曜日：08:00～17:00 中国標準時
日本語	月曜日～金曜日：08:00～17:00 日本標準時
韓国語	月曜日～金曜日：08:00～17:00 韓国標準時

以上